



たんぽぽ通信

武蔵村山病院 病児病後児保育室「たんぽぽ」



2019年9月

たんぽぽ
通信って？

「たんぽぽ通信」は、病児・病後児保育室「たんぽぽ」から、市内の教育・保育施設へ向けて情報を発信していくお便りです。みなさまのお役に立つ情報を提供していきます。



今年は昨年に比べ梅雨が長く、7月に入っても肌寒い日が続きました。プール開きをしてもなかなかプールに入れる機会が少なかったのではないのでしょうか。8月には35度に迫る日も多く、体調管理の難しい夏になりました。

手足口病が大流行

今年は手足口病が大流行しました。症状としては38度～39度の高熱が1～2日続き、口の中を痛がって水分を取らたがらないこともあります。熱が下がり始めた頃に手足や口の中、鼠径部にも発疹が現れます。

大人が感染すると痛くて歩けなくなるほど重症化することもあるので注意が必要です。



秋から冬への備え

季節の移り変わりに伴って、日々の気温変化が大きくなり、体調を崩しやすくなります。そこで、秋冬に向けて気をつけたい**感染性胃腸炎（ノロウイルス）**をご紹介します。突然の嘔吐、下痢、発熱が起こり、ウイルスが残っていると感染が広がってしまう病気です。アルコール消毒では感染を防げないため、次亜塩素酸ナトリウムの消毒でウイルスをやっつけましょう！

※次亜塩素酸ナトリウムは薬局でも手に入りますが、ご家庭でも作ることができます。作り方などの詳細はインターネット等をご覧ください。

保育室での様子

たんぽぽでは体調が悪いお子さんが少しでも楽しく過ごせるよう、DVDでアニメなどを観て楽しむことができます。子どもたちに人気の『ドラえもん』、『しまじろう』をはじめ、多くの人気作を取り揃えています。たんぽぽでの1番人気は『トムとジェリー』です。言葉は少ないのに動きを見て笑えてしまう、そんなお話ですね。

子どもたちが1日でも早く回復するようスタッフ一同で応援していきます。



1番人気は
「トムとジェリー」



Q&Aコーナー

Q. 預けられる子どもの年齢は？

A. 生後6か月～小学校3年生までです

Q. 感染症でも預けられるの？

A. 保育園や幼稚園ではお預かりできない感染症（はしか除く）のお子さんでも預けることができます。



Q. 保育中も医師が様子を診てくれるの？

A. 1日1回武蔵村山病院の小児科医師がお子さんの状態を診に来ます。

Q. 当日の朝でも利用は可能？

A. 朝8時以降に武蔵村山病院3C小児病棟へお電話ください。当日空きがあればお預かりできます。

※ その他詳しくはホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

【ご利用方法】 武蔵村山病院 または 武蔵村山市役所ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】 武蔵村山病院 3C小児科病棟 042-566-3367（日～土 8:00～18:00）